

令和4年度 サマースクール体験会 実施要項

(中学校・高等学校・特別支援学校初任者研修における学校選択研修対象研修会)

山口県教育委員会

1 趣 旨

短期間の自然体験活動でも実践できるOBSの手法を用いた野外教育活動の研修を行い、それぞれの組織・団体等の活動において活用できるようにする。

2 実施期間及び概要

期 間	概 要
令和4年7月27日(水)～7月30日(土) [3泊4日] ※可能であれば6月26日(日) 9:30～13:00の事前 説明会(十種ヶ峰青少年自然の家)へ参加	OBS手法による野外教育活動実習 (短期)の体験

3 実施場所 十種ヶ峰青少年自然の家及び周辺山域(自然の家集合解散)

4 主 催 山口県教育委員会

5 共 催 (公財)山口県ひとづくり財団

6 後 援 山口市教育委員会

7 対 象

学校教育、社会教育、家庭教育に関わる個人や団体の関係者で、以下の(1)～(2)全ての要件に該当する者

- (1) 野外教育活動を通じたカウンセリング・人間関係づくりに関心がある者
- (2) それぞれの組織・団体等において指導的な立場が期待される者

※野外での経験や体力は必ずしも要件ではない

8 定 員 10人

9 研修内容

- ・OBS(アウトワード・バウンド・スクール)概論及び指導法
- ・AFPY(Adventure Friendship Program in Yamaguchi)概論及び指導法
- ・個人とグループの成長を支える人間関係づくりの組立て方
- ・リスクマネジメント 等

10 研修効果

- (1) 短期間で可能なOBS、AFPYの教育手法を用いたプログラムの社会教育や学校教育への普及・活用
- (2) 野外教育活動に関する総合的かつ実践的な指導力の獲得
- (3) 個人とグループの成長を支える温かい人間関係づくりの体験、プログラムの組み立て方の習得
- (4) 体験活動における目標設定・振り返り、危機管理等に関する指導力の獲得

1 1 講 師

- ・アメリカ・ハリケーンアイランドOBSにて研修を受けた野外教育活動指導者
- ・青少年自然体験活動推進事業の講師 等

1 2 参 加 費

10,000円（食費、保険代、消耗品等）

1 3 日 程

期 日	内 容（予定）
7月27日(水)	山口県十種ヶ峰青少年自然の家集合（9時30分） ・開会式 ・バックパッキング(荷物を背負っての山歩き)実習等
7月28日(木) ～7月29日(金)	・バックパッキング実習 ・グループカウンセリング実習 ・仲間づくりのための課題解決型活動 ・暗喩の効果的な活用法 ・クリーンアップ（片付け） 等
7月30日(土)	・ファイナルミーティング ・閉会式 山口県十種ヶ峰青少年自然の家解散（10時）

1 4 持 参 物

マスク（洗濯可能な物）、長袖シャツ、半袖Tシャツ、下着、長ズボン、ソックス、帽子、タオル、軽登山靴、雨具（カッパ）、ヘッドランプ、油性ボールペン、空のペットボトル(500ml)、チャック式クリアフォルダー、軍手、歯ブラシ、ビニール袋、虫除けスプレー・虫さされの薬

※ザック等、野外の生活に必要な装備のほとんどは主催者側で貸与可。雨ガッパ、軽登山靴等は個人で持参（詳細は受講決定時に本人に通知）。

1 5 募 集 方 法

- ・4月下旬に青少年教育団体、大学、各種学校等に募集チラシを配付
- ・地域連携教育推進課ホームページに募集ページを掲載

1 6 受 講 申 込

申込様式を地域連携教育推進課に直接申し込みをすること（メールまたはFAX）

1 7 締 切

令和4年5月30日(月)

1 8 そ の 他

- ・密集を避けるため、参加者同士の距離を十分に確保した施設泊や個別のテント泊とするなど、十分な感染防止対策を講じた上で、プログラムを実施する。
- ・今後の新型コロナウイルス感染症の影響等を考慮し研修会を中止する場合がある。

1 9 問 合 せ 先

〒753-8501 山口県山口市滝町1-1

山口県教育庁地域連携教育推進課青少年教育班

電 話 : 083-933-4650 F A X : 083-933-4669

電子メール : a50400@pref.yamaguchi.lg.jp

担 当 : 上野 剛

《参考》

○BS手法を生かした教育的効果の高い自然体験活動

本事業は、○BS(アウトワード・バウンド・スクール)手法を活用したプログラムである。○BSとは、従来の野外活動に教育学や心理学の手法を取り入れた野外教育活動のことで、山口県教育委員会では、独自にこの手法を海外から導入し、平成5年度より「心の冒険・サマースクール」等を実施してきた。ここでは、「自己肯定感の向上」「他者との信頼関係」等において、一過性でない効果の定着が見られ、教育的効果の高い自然体験活動として取り組んでいる。

学校や地域の活動におけるAFPYの広がり

山口県独自の体験学習法「AFPY」(アフピー)は、○BSから派生した人間関係づくりの手法であり、本事業に参加することにより、AFPYの原点に触れ、より効果的なAFPYの指導方法が身に付くと考えられる。

また、「AFPY研修会」では、指導者育成に取り組んでいる。

教職員や青少年教育指導者等の研修としての有効性

本事業において、指導者(講師)が専門職としての豊かな見識と経験を生かし、子どもに対して教育相談的に対応する経験は、「子どもの心を把握する力」「様々な状況下で適切に判断する力」の高まりなど、教職員や青少年教育指導者等にとっても実践的な研修の場となる。指導技術を研鑽したり、そのノウハウを学校や地域へ還元したりする、またとない機会となっている。